

教育に関する事務の管理及び執行の状況
の点検及び評価の結果報告書
(平成26年度実績)



少年バスケットボール教室（平成26年6月28日）

平成27年12月

平生町教育委員会

<目 次>

	P
はじめに	1
学校教育	
主要な施策の成果	4
学校施設耐震化事業	7
学校施設整備事業	9
学力向上推進事業	11
学校支援員・学校司書派遣事業	13
コミュニティ・スクール推進事業	15
生徒指導環境整備事業	17
社会教育	
主要な施策の成果	19
社会教育施設耐震化事業	24
未来を担う平生っ子の育成促進事業	26
文化行事支援事業	28
絵本読み聞かせ講座事業	30
スポーツ推進事業(町内駅伝競走大会)	32
少年スポーツ教室事業	34

【はじめに】

1 趣旨

平生町教育委員会では、第四次平生町総合計画において、「みんなの笑顔が輝くまち」という基本目標のもと、子どもたちの笑顔が輝くまちづくり、生きがいに満ちたまちづくりの基本政策により、学校や地域において具体的な事務事業に取り組んでいます。

その他、平成26年度において、教育委員会制度の改正を視野に、総合教育会議の準備段階における同協議会の開催や首長による教育大綱策定に向けた一連の手続きを終えました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部改正により、全ての教育委員会は、効果的な教育行政を推進するために毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

そこで、本町教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政を推進するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、平成26年度の事務事業について、点検・評価を実施し、報告書にまとめました。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び期間

点検・評価の対象は、「平成26年度平生町の教育」基本方針の努力点及び「平成26年度各課の基本的な考え方」の重点事項、その他の主要な事業を対象としました。

点検・評価の対象期間は平成26年4月から平成27年3月までの事業です。

3 点検・評価の方法

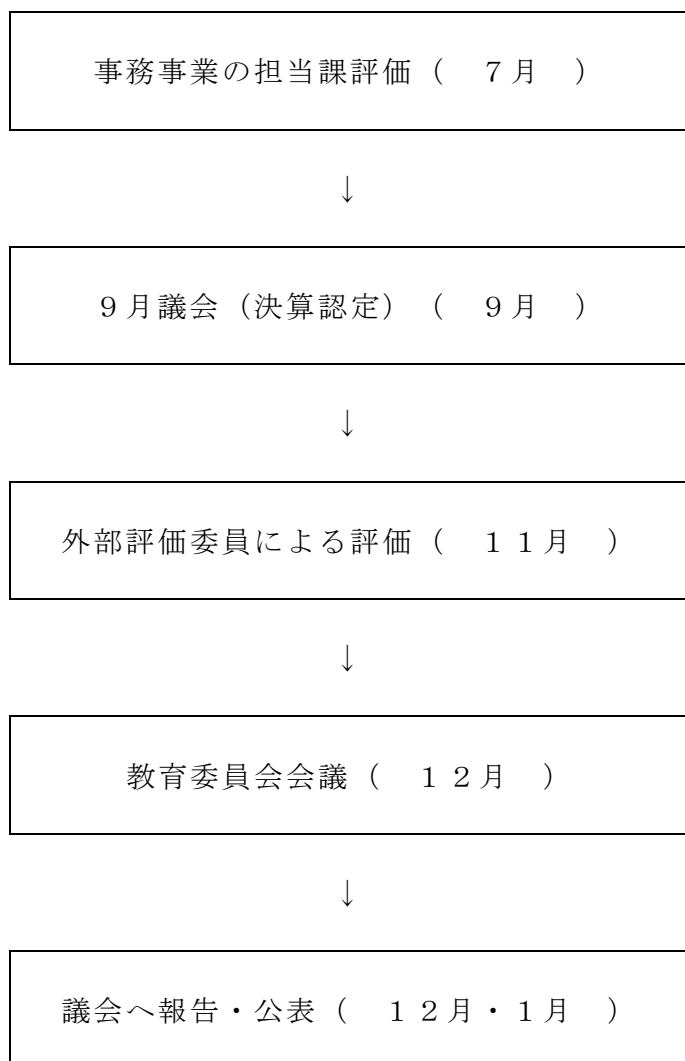
今年度は、評価の3年目となり、従来の自己評価と併せ、昨年引き続き外部評価を実施しました。

法第27条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会事務局が実施した自己評価による点検・評価の結果について、「平生町教育行政評価委員会」を設置し、下記の3名の委員から所見等をいただきました。

(敬称略)

氏 名	所 属 等
清 時 学	光輝病院事務次長
中 田 政 明	ひらお保育園長
山 本 茂 利	元市職員

4 実施フロー



5 まとめ

教育委員会の所管する事務の点検・評価については、平成25年度から教育委員会独自の自己評価（内部評価）により開始し、昨年度から外部評価委員（教育行政評価委員）による対象事務事業の成果等を客観的に点検・評価しました。

平成26年度の学校教育の基本方針「未来を拓く たくましい『平生っ子』の育成」に基づき、学力の向上や幼・小・中の連携強化、キャリア教育の充実、コミュニティ・スクール事業の推進、学校支援ボランティアの活用をはじめとしたソフト事業の充実と安全・安心な教育環境の整備を柱とし、事務事業を推進しました。

また、社会教育の基本方針は「学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進」とし、青少年健全育成活動、生涯学習、人権教育、文化活動の推進、読書に親しむ環境づくり、生涯スポーツの推進に努めました。

昨年度に比して、評価対象事業数が減少しておりますが、継続事業のうち、事業内容に変更がなく、制度改正等が行われなかった事業については、今回の点検評価から除外しております。

また、学校教育や社会教育の主な取組を文章化したものを新たに加えました。

今回、学校教育及び社会教育の主要な12事業について、まず、事業の必要性、有効性、経済・効率性、目標達成度の視点でもって、内部評価を行いました。

各事業は目標どおり、あるいはほぼ目標どおりに進捗しているという評価をし、この内部評価をベースに教育行政評価委員による評価が行われました。

教育行政評価委員からは、個別事業について、それぞれ意見が出されました。また、教育行政全般については、次のような意見が出されました。

- ・義務教育につながる幼稚園、保育園に目を向けた施策が増えてきており、小学校にスムーズにつながるよう取り組まれている。
- ・様々なスポーツ・文化行事が行われているが、主体が子どもたちであれば、その後ろにはその保護者が、その家族が、そして多くの地域の方々がいる。参加者が増えるよう、情報発信を積極的に行い、盛り上げてほしい。

個別事業に対する委員の意見を踏まえながら、上記の全般的な意見を次年度以降の施策に反映させていきたいと思っております。

また、外部評価についても、より実効性の高い的確な評価となるようにしていきたいと考えています。

学 校 教 育

学校教育

基本方針「『 未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成 』

学力の向上、生きる力の育成

・町独自の標準学力調査は、新たに小6を加え、小3～6、中1、2年生を対象に、全国学力・学習状況調査や県の学力定着確認問題調査の実施時期を勘案して、3学期に実施した。これらの調査により、年間を通して、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析し、情報を共有化することにより、児童生徒への指導や学習状況の改善等に役立て、学力の向上に資することができた。

・外国語教育の充実と国際理解教育を推進するため、英語指導助手を配置し、中学校における外国語授業の担任補助や小学校における国際理解に関わる活動の支援を行った。

・スクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）設置事業に引き続き取り組み、課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資するため、専門相談を行い、各学校の実情に応じた指導体制の充実を図った。

・平成26年4月に、「平生町いじめ防止基本方針」を策定し、学校での取組や、地域住民、家庭等との連携のもと、いじめの防止やいじめの早期発見、いじめへの対応のための対策を総合的かつ効果的に推進することとしている。併せて、不登校やいじめ防止、あたたかな人間関係づくりのためのアンケート「QU、ハイパーQU」についても、小5、6、中1～3を対象に引き続き実施した。その結果は、不登校やいじめなどの予防対策に活用できるものである。

・学校支援員については、さらに充実させ、平生小に8名、佐賀小に1名、平生中に2名の計11名を配置した。「学習習慣の定着や個別指導の充実など、確かな学力の向上を目指したきめ細かな指導ができています。学校生活への適応など生徒指導上の諸課題への対応ができる。」などの声が上がっており、保護者や学校から高い評価を受けています。

また、26年度から、図書担当としての学校支援員から独立させ、図書館司書の資格所持有者を学校司書として小中3校で1名増員し、2名配置した。司書教諭の補助的な役割を担ってもらうとともに、児童生徒と本をつなぐ役割も担っている。

・特別支援教育として、平生小及び平生中において、特別支援学級を設置し、個に応じたきめ細かな配慮を行った。

・**キャリア教育推進事業**では、「ふるさとの先輩から学ぶ講演会」として、6月に民間航空機開発に携わられた元エンジニア、11月に赤米の生産に携わられている女性起業家による講演会を平生中において開催した。一人ひとりの夢の実現に向けて、子どもたちがふるさとに誇りと愛着を持ちながら、夢や希望をもって、一人の社会人として自立できるよう意欲や態度、能力の育成を図ることができた。

・**幼保小中の連携**については、連絡協議会の開催や入学の際の子どもに関する情報交換、授業参観などを実施し、引き続き連携を図ることができた。幼小連携として、小学生が幼稚園を訪問し、ゲームなどを通じ、交流を図った。小中連携として、町内の全教職員が参加して合同の研修会を開催し、学力向上や授業改善について協議をするとともに、中学校教員による小学校での出前授業を実施することで、互いに高め合い、資質の向上、授業力の向上に資することができた。

・**小小連携**についても、両校児童の交流により、中学へのつながりを持った取組みを引き続き進めていく必要がある。

・子ども・子育てをめぐる様々な課題を解決するために、「子ども・子育て支援法」が24年8月から施行され、それを受け、「子ども・子育て支援新制度」が27年4月から施行されることに伴い、幼稚園に関わる諸準備を行った。

安全・安心な教育環境の整備

・**学校施設の整備**については、佐賀小において、トイレの改修や高圧電気設備の改修を行ったほか、平生小においては、給食室の改修、平生中においては、2階トイレの改修や水道管敷設替工事を行った。

・**学校施設の耐震化**については、平生小の普通教室棟（第3校舎）及び管理棟（第2校舎西側）の耐震補強工事を平成25年度からの繰越事業として実施した。また、平生小の特別教室棟（第2校舎東側）及び平生中の特別・管理教室棟の耐震補強工事に係る実施設計を実施し、27年度に工事を実施予定である。

学校施設の26年度末の耐震化率は、85.7%となり、27年度に施工予定の2棟の工事が完了すれば、耐震化率は100%となる。今後は、校舎の老朽化に伴い、改修工事の必要性が高くなっており、年次的な整備計画を策定し、順次整備する必要がある。

・**遊具点検**については、多くの園児や児童が毎日使用する遊具であり、幼稚園、小学校において専門業者による点検を引き続き実施した。

家庭・学校がつながり信頼される学校の創造

・町内小中3校においては、**コミュニティ・スクール**を立ち上げ、地域と連携した特色ある学校づくりを推進している。平成27年2月に、3校の学校運営協議会の合同会議を初めて開催し、各校の情報提供、情報交換をはじめ、教育委員会からの情報提供も行い、3校連携をとりながら、学校、地域が一体となった取組みを進めていくこととしている。27年度からは、小中合同の学校運営協議会を常設し、情報の共有化、3校連携した取組みを進めていきたいと考える。

また、幼稚園においても、地域の支援ボランティアによる活動が始まり、地域と幼稚園が連携して子どもたちを育成していく体制づくりが進んできている。

・**就学・就園支援**については、継続事業として、私立幼稚園に就園している保護者への幼稚園就園奨励費、小中学生のいる家庭で学用品費、給食費、修学旅行費用などに対して一部助成をする就学援助費、児童は片道2キロ、生徒は片道6キロ以上を対象にした遠距離通学者のための遠距離通学費など、保護者の経済的負担を軽減するための助成事業を実施した。これらは、教育の機会均等、義務教育の円滑な推進を図るための重要な事業である。

・26年度から外部評価委員3名による**教育行政評価委員会**を設置し、各種事務事業の点検・評価を行ったところであるが、その点検報告においても、これらの事業継続の必要性の判断がなされている。

平成26年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	安全・安心な教育環境を保障し、学校・地域を愛する心を育てます		
事業名	学校施設耐震化事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	学校施設の耐震化を促進し、児童・生徒の安全を確保する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強工事 平生小学校普通教室棟(第3校舎)の耐震補強工事を実施。・・・平成25年度繰越分 平生小学校管理棟耐震補強工事を実施。・・・平成25年度繰越分 実施設計 平成27年度に実施する平生中学校管理特別教室棟耐震補強実施設計を実施。 平成27年度に実施する平生小学校特別教室棟耐震補強実施設計を実施。 		
事業の対象	平生小学校、平生中学校		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	3,036 千円	38,013 千円	67,503 千円
決算額に占める 特定財源額	- 千円	35,690 千円	66,573 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>本町の小・中3校全体の校舎数は14棟であり、平成26年度末現在、耐震性有りの校舎が12棟で、耐震化の必要な棟数が2棟となった。 耐震化の必要な校舎のうち、平生小学校普通教室棟(第3校舎)及び管理教室棟について耐震補強工事を実施し、その結果、本町の学校施設耐震化率は平成26年度末で、85.7%となったが、耐震化率においては、県下の平均86.9%を少し下回っている。 平成27年度に耐震化の必要な平生中学校管理特別教室棟及び平生小学校特別教室棟2棟の耐震補強を実施することにより、平成27年度末の耐震化率は100%となる見込みである。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>計画通り進めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	--------------------

平成26年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	安全・安心な教育環境を保障し、学校・地域を愛する心を育てます		
事業名	学校施設整備事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	学校施設の整備を促進し、園児や児童・生徒の学習環境の安全を確保する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・工事 <ul style="list-style-type: none"> ○平生幼稚園職員室改修工事 ○佐賀小学校:トイレ改修工事 ○平生小学校:給食室改修工事 ○平生中学校:普通教室棟2階トイレ改修工事 ・修繕 <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校及び幼稚園において、老朽箇所、破損箇所等の修繕を実施。 		
事業の対象	幼稚園、小学校、中学校		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	26,279 千円	21,947 千円	22,003 千円
決算額に占める特定財源額	13,600 千円	5,000 千円	12,200 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>校舎の老朽化が進み、改修工事、修繕の必要な箇所が増えている中、年次的に工事・修繕を実施することにより学習環境等の安全を確保している。 佐賀小学校において、トイレ改修や高圧電気設備の改修を行ったほか、平生小においては、給食室の衛生面を確保するために改修工事を実施した。 平生中学校においては、平成25年度に引き続きトイレの洋式化や水道管敷設替え工事を実施した。 今後は、費用面や工事期間中の学校運営への影響、効率性などを考慮し、優先順位を検討の上、改修計画を策定し、計画的な整備に取り組みたい。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>将来の児童生徒数を見通し、快適で安全な学習環境の整備に努めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	---

平成26年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます		
事業名	学力向上推進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	学力向上を図るために、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することに努め、課題解決に向けて、学校と家庭・地域等が一体となった取組を推進する。		
事業の内容	<p>・標準学力調査 22年度から実施。児童生徒の学習到達度を評価する。個人成績、学校用の資料提供を受ける。26年度は、新たに小学6年生を加えて実施。 <対象学年、教科> ○小学3年生 国語、算数 ○小学4年生 国語、算数 ○小学5年生 国語、算数、理科 ○小学6年生 国語、算数 ○中学1年生 国語、数学 ○中学2年生 国語、数学、理科</p> <p>・家庭学習啓発パンフレット作成・配布 家庭学習のポイントを学年別に記載し、確かな学力育成のために、学校と家庭が連携し取り組むための指針として作成。(毎年度、新1年生分を作成・配布)</p> <p>・生活習慣啓発パンフレット作成・配布 家庭教育5つのポイントとして、「基本的な生活習慣を身につけましょう」「ルールを守りマナーを身につけましょう」「家族でのふれあいを大切にしましょう」「家庭での学習習慣を身につけましょう」「地域でいろいろな体験活動を楽しみましょう」を明記したものを作成。(毎年度、新1年生分を作成・配布)</p>		
事業の対象	児童生徒およびその保護者		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	404 千円	407 千円	438 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
事業の評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>・標準学力調査 小学校6年生と中学校3年生を対象に実施される全国学力・学習状況調査や県の確認問題等と併せて、児童生徒一人ひとりの学力の定着状況を継続的に把握することができる。また、児童生徒の学力定着状況をもとに、課題となっているものを分析し、教員の授業改善や家庭と連携した学力向上の取組に生かすことができた。</p> <p>・家庭学習啓発パンフレット作成・配布 100部作成。小学校新1年生に配布。家庭学習を進める上でのエッセンスが詰まっている。各学校ではこれを基に、より具体的に家庭学習の進め方について指導し、学力の向上に努めた。</p> <p>・生活習慣啓発パンフレット作成・配布 小学校新1年生に配布。家族みんなで家庭教育の在り方を振り返り、共通認識の上に立って家庭生活の充実につながっている。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>継続して行っている新1年生に対する家庭学習、生活習慣啓発パンフレットの作成・配布により成果が出ている。引き続き学力向上に努めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	--

平成26年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	安全・安心な教育環境を保障し、学校・地域を愛する心を育てます		
事業名	学校支援員・学校司書派遣事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	児童・生徒の個の特性に応じたきめ細かな対応を行う。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生対応 (平生小3名配置)(1日4時間、週3～4日、時給810円) 落ち着いて授業を受けることのできない、また、理解の困難な1年生児童の個別指導 ・特別支援学級対応 (佐賀小1名、平生小5名、平生中2名配置)(1日5時間、週5日、時給810円) 特別な配慮を必要とする児童生徒への個別指導 ・学校司書(平成26年度 学校支援員から独立) (平生小 1名・佐賀小・平生中兼務 1名 配置)(1日4時間、週5日、時給810円) 図書室管理ソフトへの入力作業、廃棄手続き、本の紹介、本の企画展示など 		
事業の対象	児童・生徒		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	5,636 千円	5,659 千円	7,641 千円
決算額に占める 特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>「一人ひとりの状態に応じたきめ細かな指導を行うことができ、学習習慣の定着に繋がった。個々の特性に応じたきめ細かな配慮ができ、子どもたちとの信頼関係も増してきた」などの声が学校からあがっている。保護者や学校からの高い評価をうけ、要望も強い事業である。司書教諭は配置されているが、あくまでも教諭との兼務であり、授業との関係で図書室に係わる時間が限られているため、学校司書の配置は重要な役割を担っている。学校全般にわたり校務が多様化、複雑化している中で教員が児童・生徒と向き合う時間の一層の確保のためにも重要な事業である。平成26年度から、「学校司書」として学校支援員から独立させ、1名増員し、支援を強化した。しかしながら、1名は平生中学校と佐賀小学校を兼務しており、支援が十分でないことから、さらに拡充したい。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>個に応じたきめ細かな指導など成果を上げており、一層推進してほしい。学校支援員、学校司書のスキルアップのため、研修体制を整えてほしい。財政的な支援についても検討してほしい。</p>
-------------	----------	---------------	--

平成26年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	家庭・地域とのつながりを深め、信頼される学校を創ります		
事業名	コミュニティ・スクール推進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	コミュニティ・スクールに指定することで、家庭・地域とのつながりを深め、特色のある開かれた学校づくりを推進する。		
事業の内容	<p>・コミュニティ・スクール推進事業</p> <p>学校運営協議会を設置し、校長の学校運営方針について、議決を得ながら、学校運営を進めていく。運営協議会委員は、有識者、地元代表、保護者代表、学校関係者の中から教育委員会が任命。学校は運営協議会での意見を尊重し、学校運営に生かしていくことで、地域と連携した特色のある学校づくりを推進している。</p> <p>平成20、21年度に平生小が文部科学省の研究指定、22年度から佐賀小、平生小を、24年度から平生中を町指定。コミュニティ・スクール推進事業交付金として上限額を20万円とし、学校の要望に応じ補助している。</p> <p>平成27年2月、小中3校の学校運営協議会の合同会議を初めて開催し、各校の情報提供、情報交換をはじめ、教育委員会からの情報交換も行い、3校連携を取りながら、学校、地域が一体となった取組を進めていくこととしている。</p>		
事業の対象	佐賀小学校、平生小学校、平生中学校		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	272 千円	350 千円	401 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>平生小、佐賀小では年間、概ね5回程度の学校運営協議会を開催し、学校、家庭、地域が連携を深め、協力して地域の子どもを育てる体制が定着しつつある。また、本町では地域協育ネット(学校支援地域本部事業と放課後子ども教室)も実施しており、学校支援ボランティアと一体となった取組となっている。地域の講師、放課後の見守り、登下校時の見守り、学校環境整備など地域の活力を生かした取組が増えている。</p> <p>24年度に指定した平生中においても、学校運営協議会の設置を機会に、授業公開をしたり、学校や生徒の状況等について説明し、協議を深めるなどして、成果をあげている。</p> <p>今後は、常設の「平生町小・中合同学校運営協議会」を設置し、一層質の高い教育支援体制を構築していく予定である。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>学校・家庭・地域の連携を深め、今後も継続し、重点的に進めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	--

平成26年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます		
事業名	生徒指導環境整備事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	園・学校間の連携によるつながる子どもの育ちに向けた取組を充実するとともに、学校における生徒指導、教育相談体制を充実させ、児童生徒の心の成長を促す指導を推進する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連絡協議会 心豊かでたくましい「平生っ子」の育成をめざして、園・学校関係者により年3回の協議会や公開保育・授業公開により情報交換を実施。 ・小中合同研修会、出前授業 小中9年間を見据えた教育を推進するために、小中学校教員参加の合同研修会や中学校教員の小学校への出前授業を実施。 ・QU、hyper-QU(楽しい学校生活を送るためのアンケート・よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート) 不登校やいじめの未然防止や学校内の人間関係の把握・改善のために、小学5・6年、中学1～3年を対象にアンケート調査を実施。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー) 課題のある児童生徒や家庭への支援のために、教育委員会にSSW(スクールソーシャルワーカー)2名を配置。 ・平生町いじめ防止基本方針を策定(平成26年4月) 		
事業の対象	佐賀小学校、平生小学校、平生中学校		
年度	平成23年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	18 千円	1,151 千円	1,028 千円
決算額に占める特定財源額	-	512 千円	455 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)	<input type="checkbox"/> 十分できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る

<p>判定説明考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中連絡協議会 園・学校関係者が参加し、取組の成果やそれぞれの課題、子どもたちの状況等について情報交換・協議を深め、幼保小中連携した全町あげての取組となっている。 ・小中合同研修会、出前授業 小中の教員同士の情報交換や課題意識の共有化を図るとともに、小学校高学年の子どもたちが抱える中学校での生活や授業への不安を解消する点でも有効である。 ・QU、hyper-QU(楽しい学校生活を送るためのアンケート・よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート) 担任による学級の子どもたちの人間関係の把握と併せてアンケート調査を実施し客観的な結果を得ることにより、学級経営や授業づくりに生かすことができている。 ・SSW(スクールソーシャルワーカー) 教育委員会に2名配置し、課題のある児童生徒や家庭への支援のために、社会福祉士という専門的な立場からの助言や家庭支援のための具体的な働きかけにより、成果をあげている。 ・平生町いじめ防止基本方針を策定 学校、地域住民、家庭その他関係者が連携を取り、いじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進していくこととしている。 						
<p>事業の方向性</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>さらに重点化する</td> <td style="width: 33%; border: none;"><input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する</td> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>単年度で終了</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する					
<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 単年度で終了					

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>SSWを活用し、学校、家庭と連携した取組を進めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	-------------------------------------

社 会 教 育

社会教育

基本方針『 学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進 』

青少年健全育成活動の推進

・各地区の青少年の健全な育成を図ることを目的に、平成24年度から実施している「未来を担う平生っ子育成促進事業」が3年目を迎えた。26年度においても全7地区から申請があり、どんど焼きやもちつき、芋の植え付けなど、地域ぐるみで三世代の交流が図られた。なかでも町民グラウンドで実施したどんど焼きは、まち・むら・豎ヶ浜の3地区で合同開催されるなど、地区の枠を超えた交流の輪が毎年広がっている。

・町子ども会活動については、26年度で3年目となる「しょういん学校助成金」の交付を受け、各種行事を行った。なかでも、平生町文化財マップ作りでは、子どもたち自身が自分の手で地図を作成するため、町内にある文化財や歴史民俗資料館等を巡り、担当者から説明を受けた。平生町の歴史や文化について学習し、理解することで、郷土への愛着が深められた。

・新規事業として、平生町青少年育成町民会議主催による「**立志の集い**」を平生中学校体育館にて開催した。今年度新たに14歳を迎える中学2年生を地域と家庭、学校が連携してお祝いし、目標を持つことの大切さや、地域とのつながりについて再認識し、大人になる自覚を深めた。

生涯学習の推進

・**生涯学習の推進**については、町民憲章の第2項「スポーツに親しみ きまりを守り 健やかなまちをつくります」の具現化に向けて、取組みを展開した。平成26年度も啓発ポスターや標語募集を行い、ポスターについては56点、標語については、357点もの応募があった。また、花いっぱい運動の優秀団体とともに、生涯学習表彰式において表彰した。

・秋の**文化行事**では、今回から新たに役場・教育委員会ブースを設け、参加と協働のまちづくりや、子ども会及び地域教育ネット等に関する展示を実施し、27年度に行われる「ねんりんピック」のPRも併せて行った。また、子ども会では長い巻きずし作りに挑戦し、文化行事の参加者と共に16mの長い巻きずしを完成させた。

・**生涯学習まちづくり出前講座**については、各小学校や地域の団体から多くの申し込み

があり、延べ39団体、1,186人が受講した。また、広報の生涯学習推進だよりコーナーへの掲載等により、生涯学習の意識の高揚を図った。

人権教育の推進

・平成25年度からの継続事業として、「互いに認め合い、共に高め合う人権教育の推進」を図るため、「**人権教育総合推進地域事業**」に取り組んだ。26年度は3年間の継続事業の2年目となり、実践的に取り組む年度となっているため、幼稚園、各小・中学校、事業の委員となっている各種団体の代表者と共に、人権教育の推進体制や年間計画等を作成した。更に、関係者が人権学習講座や人権講演会、各種研修会に参加することにより、人権教育の推進に必要な知識と能力の向上を図った。

また、25年度に引き続き平生っ子アンケートを幼稚園、各小学校、中学校の児童生徒を対象として実施し、幼児や児童生徒の現状や課題を洗い出すとともに比較分析し、人権意識の醸成と最終年度に向けての今後の事業の方向性を明確にした。

・継続事業として、人権教育総合推進地域事業の位置づけで、**人権学習講座**を開催し、3日間で延べ177人の受講があった。また地域住民に「人権」をより身近に感じてもらうために、**人権コラム**「つながり めくもり」を毎月広報「ひらお」へ掲載し、年度末で50回の連載となった。

文化活動の推進

・文化財の活用を推進するため、文化財説明看板及び案内看板の計画的な修繕を行った。また、文化財周辺の草刈り等を定期的に依頼し、景観維持に努めた。

・**伝統芸能**分野においては、11月2日（日）に、島根県で開催された「中四国伝統芸能フェスティバルin神々の国しまね」に、曾根神舞保存会が、山口県の代表として選出され出演した。ステージでは、世の中の平穏を祈念する意味を込めた「三鬼神」を披露した。

・平成26年度で49回を数えた「**平生町音楽鑑賞会**」においては、9年度以来、2度目の公演となる「**菌田憲一とデキシーキングス**」を迎えて開催した。当日は、約400名の来場があり、素晴らしい演奏と歌声に来場者は魅了され、会場が一体となって有意義な時間を過ごすことができた。

読書活動の推進

・平成25年度に策定した「**第二次平生町子ども読書活動推進計画**」の施策に沿って、子どもたちが、自主的に読書習慣を身に付け、生涯にわたって本と親しむことができる環

境づくりの推進を引続き進めた。

・「**絵本読み聞かせ講座**」を新たに実施し、読み聞かせ技術の向上を図ることができた。また、平生幼稚園及び図書館で「**親子で楽しむ絵本講座**」を開催し、幼児期の読み聞かせの大切さや、本に親しむ子どもの育成などについて保護者に意識の啓発をすることができた。ボランティア団体「平生町おはなし会」の活動支援を行い、活動内容の充実を図ることができた。「夏休み子ども移動図書館」及び「こども文庫」も25年度と同様に開催し、夏休み期間中の読書環境の充実に努めた。年間を通して実施している、学校等への配本・回収は、新たに”つばさ保育園”を加えるなど、益々拡大・充実を図っている。

館内の展示コーナーや掲示板・広報などで、話題の本や新着本の紹介を行い、読書に対する興味や関心を高めることに努めた。図書館に来館することが困難な人に対して本を提供している「**一般向け移動図書館**」も、読みたい本のリクエストが増えるなど、利用者から喜びの声が伝わってくる。

・館内設備では、使用頻度が少なかった身障者用トイレを多目的トイレに改修し、利用者の利便性の向上を図ることができた。

・図書館ホームページは、年間35万件を超えるアクセスがあり、また約300件の予約があるなど、利用者へのサービス向上が図られた。

歴史民俗資料館について

・平生町歴史民俗資料館では、町内の遺跡や古墳からの出土品及び絵画や掛け軸など文化財の保管・展示に努めている。また、**特別展示**では、文化・芸術に優れた才能を持つておられる町内の方を「**郷土の達人**」と称して紹介する、新たなシリーズを実施し、非常に好評であった。今後も、郷土の人材を発掘し、このシリーズを続けていく考えである。

平成27年3月には、「今から150年前ってどんな時代？ 大野毛利家と第二奇兵隊」と題して歴史講座を開催し、郷土の歴史について理解を深めることができた。

阿多田交流館について

・阿多田交流館は、当時を偲ばれるこの地に平成16年に開館し、平和教育の学習の場や、地域交流の場として活用されており、26年度には約5,300人の来場があった。また27年度は終戦70年を迎えるため、テレビ等マスコミの取材や問合せも多数あり、平和の願いを伝えることができた。

・交流館玄関前に設置している回天レプリカの表面に錆が発生し、レプリカ本体に影響を及ぼしていたため、再塗装を実施し、回天レプリカの修繕を実施した。

生涯スポーツの推進

・平成25年度策定した「平生町スポーツ推進計画」の計画1年目を迎え、その計画の基本施策として、健康及び体力の保持増進のために、ラジオ体操の普及啓発を掲げており、曾根・佐賀地区に続き大野地区でも「ラジオ体操会」を開催した。

・健康・体力づくりの意識と実践意欲の高揚を図り、生涯スポーツを推進するため、ファミリースポーツ・レクリエーション大会や各種スポーツ大会を開催した。

・26年度から出発・開会式会場を平生中央児童館前に変更し、スタートから体育館中継所までのコースを変更した「平生町駅伝競走大会」については、悪天候のため、昨年、一昨年に続き3年連続の中止となった。

・山口国体の地元開催競技等を「我がまちスポーツ」として地元根付かせ、地域で親しむスポーツとして定着・育成していくことを目的とした「我がまちスポーツ推進事業」が3年次を迎えた。本町では、昨年、一昨年に続き、FCクレーレと平生キッズとサッカーをする会の2つの団体がイベントを開催し、交流や技術習得、スポーツを通した子どもたちの健全育成を図った。

・子どもたちに夢と希望を与え、高い技術の習得や将来に亘ってスポーツを続ける気持ちを支援することを目的に、プロバスケットボールクラブチームのコーチ・選手を講師に迎え、「少年バスケットボール教室」を実施した。これは、25年度から県体育協会の補助事業として始まった「スポーツ少年団活性化事業」の一部を活用したものであり、スポーツ少年団活動の活性化に向け2団体の取組みとなった。

・光市、柳井市、田布施町と本町の2市2町が持ち回りで開催している、新春の風物詩である「平和記念周南駅伝競走大会」は、昭和27年度の第1回大会以来長きにわたって開催されてきた歴史ある大会であったが、関係市町等の協議の結果、近年の参加チームの減少や諸事情により、残念ながら26年度以降休止することとなった。

社会教育施設の整備

・快適な学習環境の推進を図るため、堅ヶ浜コミュニティセンター入口に手摺を設置し、佐賀公民館田名分館において、駐車場の舗装工事を行った。また、教育委員会駐車場入口に設置している外灯が老朽化し危険であるため、LED外灯を設置し、中央公民館1

階研修室では床がシロアリの被害を受けていたため、シロアリ防除業務委託を実施し、被害の拡大を抑えた。

- ・教育委員会事務所横の機械室において、屋上に設置の空調設備機器の影響により、雨漏りが発生していたため、空調設備の撤去を行い、雨漏りを防止した。

- ・社会教育施設の耐震化については、中央公民館、佐賀公民館において耐震補強実施設計業務を実施し、今後における安全安心な社会教育施設の整備の推進を図った。

平成26年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯学習を推進します		
事業名	社会教育施設耐震化事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	社会教育施設の耐震化を促進し、快適な生涯学習の環境を提供することと併せ、災害時の避難所としての機能を確保するため。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館耐震補強実施設計(5,194,800円) ・佐賀公民館耐震補強実施設計(3,132,000円) 安心安全な社会教育施設の環境整備を図るため、耐震工事の前段階である耐震補強実施設計を行った。		
事業の対象	中央公民館、佐賀公民館		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	2,819 千円	2,609 千円	8,327 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>平成24年度に中央公民館、平成25年度に佐賀公民館の現況耐震診断を実施した。 診断の結果、中央公民館においては、1・2階が耐震基準を満たしておらず、佐賀公民館においては、1階が耐震基準を満たしていない。よって、平成26年度に耐震補強実施設計を実施し、今後の耐震工事に向けて準備を進めている。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>年次計画を立て、施設の耐震化を計画的に進めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	-----------------------------------

平成26年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	青少年健全育成活動を推進します		
事業名	未来を担う平生っ子の育成促進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	地域のつながりの希薄化が問題となる中、青少年健全育成活動を地域で展開する町民会議地区会議に対して取り組みを支援することにより、地域とのかかわりを通して、真に心の豊かな平生っ子の育成を図る。		
事業の内容	平成24年度新規事業で、今年度で3年目を迎えた青少年育成町民会議地区会議が実施する活動(スポーツレクリエーション活動、文化・学習活動、その他コミュニティ活動)を活性化するために助成金を交付する。		
事業の対象	青少年育成町民会議地区会議		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	69 千円	73 千円	86 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>平成26年度も全7地区の地区会議から申請があり、事業が実施できた。なかでも町民グラウンドで実施したどんど焼きは、まち・むら、堅ヶ浜地区会議と合同で開催され、地区の枠を超えた交流が年を追うごとに活発になってきている。</p> <p>地区別では、まち地区でケーキ作り、むら地区はイモの植え付け、宇佐木地区はどんど焼き、堅ヶ浜地区はどんど焼き、大野地区は餅つき大会、曾根地区はケーキ作り、佐賀地区は餅つき大会が実施され、この事業の趣旨に沿った人材育成と三世代交流が十分行われたと思われる。</p> <p>各地区で実施した行事は、人とのつながりや枠作りのため、重要な行事となっている。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>B</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>地域とのかかわりを通して、心豊かな子どもたちを育成する重要な事業である。継続して取り組まれない。</p>
-------------	-----------------	---------------	---

平成26年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	文化活動を推進します		
事業名	文化行事支援事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	音楽協会や文化協会などが行う行事への人的、財政的支援を行い鑑賞機会の充実を図る。		
事業の内容	文化行事の企画、立案の支援や当日の運営補助、及び補助金の支出による財政的支援をする。文化行事としては、平生町文化協会主催の平生町総合文化展、平生町音楽協会主催の平生町音楽鑑賞会とふれあいコンサート、町民音楽祭について、事務局として人的支援と、それぞれの協会が活動の活性化を図るために補助金の交付を行う。		
事業の対象	文化協会・音楽協会		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	271 千円	271 千円	271 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る B ほぼ目標どおり

判定説明考察	<p>平生町文化協会主催の総合文化展においては、自分たちの生涯学習の発表の場として、日頃の学習の成果を展示された。出展については、幼稚園や中学校さらに、熊毛南高校の美術部・華道部など子どもたちの作品も多い。また自由作品においても、積極的な出展が見られている。また今年度は、県レベルの美術展で4名の方が入選以上を果たし、平生町の文化活動に貢献された。</p> <p>音楽協会主催で、音楽鑑賞会、ふれあいコンサート、町民音楽祭が開催された。</p> <p>音楽鑑賞会は、芸術文化の意識高揚とともに、平生の子どもたちにすばらしい生の音楽に触れる機会をとの願いからはじまり49回を数える。今回は「デキシーランドジャズが奏でる心温まるハッピーなひと時」と題して実施し367名の来場があった。毎年様々なジャンルの演奏会を実施する鑑賞会は、大人のみならず、児童生徒にとっても大変意義深いものである。</p> <p>ふれあいコンサートは町内の小中高校が音楽によるふれあいをもつための行事で、第29回となる今回のコンサートはゲストとして日本尺八連盟周南幹部会と筑紫琴鳳会、蔵本智子さんを招き(30名)、「荒城の月・21」の演奏と歌唱を楽しむことができた。日本古来の尺八・琴の生演奏は聞く人を大いに魅了した。</p> <p>町民音楽祭は、町内の公民館やコミュニティセンターで活動している音楽団体の発表の場として開催された。</p> <p>いずれの行事もボランティアでの運営を事務局として人的支援を行うとともに、活動資金となる補助金を交付したことで、ボランティアと生涯学習の醸成など高揚が図られた。</p>
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	B	評価委員意見	文化芸術に触れあえる場であり、生涯学習の発表の場でもある。継続して取り組んでほしい。
------	----------	--------	--

平成26年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	読書に親しむ環境を整備します		
事業名	絵本読み聞かせ講座事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	絵本の読み聞かせ技術や絵本選びを楽しみながら学び、家庭での読み聞かせに役立てるため。		
事業の内容	読み聞かせボランティア団体の会員及び町内で読み聞かせに興味がある人を対象に、読み聞かせ技術の向上を図るため、講師を招いて講座を開催する。		
事業の対象	町民		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	20 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下回る B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>読み聞かせ技術の向上を図るため、平生町おはなし会の方々を中心に参加があった。</p> <p>・「絵本読み聞かせ講座」 講師 山本安彦 先生 会場 平生図書館 参加者23人(保護者等19人、子ども4人)</p> <p>参加者はたいへん熱心に聴講し、多くの質疑もあった。特に、おはなし会の方が小学校で行う読み聞かせのより良い方法や、ブックトークのやり方など、今後の活動や家庭での読み聞かせに、たいへん役立つ講座であった。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>B</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>子どもの読書活動を推進する重要な事業である。継続して取り組んでほしい。</p>
-------------	-----------------	---------------	--

平成26年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯スポーツを推進します		
事業名	スポーツ推進事業(町内駅伝競走大会)		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	スポーツの振興と親睦融和を図り、併せて生涯スポーツ推進の一環として町民のスポーツに対する気運を醸成する。		
事業の内容	今年からコースを変更し平生中央児童館前を出発、佐賀小学校をゴールとする平生町内を走る全コース11.9Kmの駅伝競走大会を実施する。小学生・中学生女子・一般2部・一般女子の部は7区間で、中学生男子・一般1部の部は5区間で行う。 体育協会陸上部とスポーツ推進委員協議会が主管となり、多くのスポーツボランティアの協力で運営されている。		
事業の対象	町内団体(学校、企業、地域)		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	402 千円	121 千円	113 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input checked="" type="checkbox"/> できていない
内部評価	判定不能	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>参加申請チーム数38チーム(小学校:8チーム、中学校男子:8チーム、中学校女子:6チーム、一般1部:7チーム、一般2部:8チーム、一般女子:1チーム)で開催に向けて、準備を整えていたが、平成24年度、25年度に続き、26年度も悪天候により中止となり、目標達成の判断はならなかった。 駅伝運営には、中継所役員、交通安全指導員、集計担当等多くのスポーツボランティアが必要であるが、近年、高齢化に伴う世代交代のための新たなボランティアの確保に苦慮している。 今年度から一部コースを変更し、区間数を減少したことにより、佐賀小学校のチーム数が増えた。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>判定不能</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>天候不順のため中止となり、判定不能とする。</p>
-------------	--------------------	---------------	------------------------------

平成26年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯スポーツを推進します		
事業名	少年スポーツ教室事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	町内各スポーツ少年団と連携し、団の活性化や団員・指導者の技術向上、また、子どもたちが高い技術に接することにより、夢や希望を感じ、将来に亘ってスポーツを続ける気持ちを支援する。		
事業の内容	年度ごとに実施する競技を定め、プロ選手等の優れた技術指導講師を招待して、スポーツ少年団の活性化と子どもたちの技術向上を図るためのスポーツ教室を開催する。 平成26年度は、プロバスケットボールクラブチームのコーチ・選手を招き、少年バスケットボール教室を開催した。		
事業の対象	スポーツ少年団員、指導者及びその競技に興味がある児童		
年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業費(決算額)	千円	150 千円	170 千円
決算額に占める特定財源額		-	-
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>平成25年度から始まった県のスポーツ少年団活性化事業を活用して、プロバスケットボールクラブチーム「広島ドラゴンフライズ」のコーチ・選手を招いて少年バスケットボール教室を開催した。教室には、スポーツ少年団員14名と公募したバスケットボールに関心がある小学生21名と平生中バスケットボール部42名が参加した。 教室では、ボールの感覚を養うことに重点を置いて指導を受け、参加した子どもたちは基礎技術を習得することの大切さを学ぶことができた。 また、中学校と連携し実施したことで、子どもたちの交流を深めることができた。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>B</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>スポーツ少年団の活性化や団員、指導者の技術向上につながるよう継続して取り組んでほしい。</p>
-------------	-----------------	---------------	--